

## 生徒指導における校長としての働き掛け



南魚沼郡市・塩沢小学校

### 一 生徒指導とは

生徒指導とは、「社会性の育成や社会に受け入れられる自己実現を願って、児童生徒の自発的かつ主体的な成長・発達の過程を支援していく働き掛け」の総称である。つまり、普段の働き掛けの多くは、生徒指導ということになる。

### 二 社会性の育成を基本とした学校経営方針

平成二十二年にスタートした『深めよう絆県民運動（現 いじめ見逃しゼロ県民運動）』において、育てたい社会性の能力・態度として次の四点が提示された。

- ① 自己有用感、② 人間関係づくりの能力、③ 規範意識、④ 困難に対して他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度
- 昨年度までの児童の実態や生徒指導の取組と、この四点を踏まえて、児童に身に付けさせたい力を次の三点とした。
- (1) あたたかい声（挨拶・返事・歌声・言葉遣い）：①②
  - (2) ルールとマナー（決まり・約束・時間）：①②③
  - (3) 努力・がんばり（諦めない心・継続すること）：④

また、当校を含む六校を学区とする塩沢中学校は『あじみこ（あいさつ・じかん・みだしなみ・こ）とばづかい』

をキーワードに、自己有用感を高める教育を推進している。

### 三 児童に対して

これらを踏まえ、『あたたかい声』『ルールとマナー』を、児童のキーワードとして一学期始業式にて提示した。

「挨拶しなさい」「ルールを守りなさい」と児童に働き掛けても、挨拶やルールを守ることがあまり改善しない。全校朝会の校長講話にて、挨拶の意義や良い挨拶についてプレゼンした。担任の働き掛けも加わり、中・高学年を中心に小さい声ながらも挨拶する児童が多くなった。

全校朝会等では、挨拶の良くなっている点を褒め続けた。

### 四 教職員に対して

児童だけでなく、教職員にも「いつでも、どこでも、だれでも『率先垂範』『二事徹底』』というキーワードを示した。特に挨拶を徹底するために、教職員が児童に見本を示すこと、声を掛け続けることが重要である。校長自らも毎朝校門にて児童に挨拶し続けることは、教職員に見本を示すことになり、意識改革や率先垂範につながった。

### 五 家庭・地域に対して

家庭の協力も必要である。児童や保護者の挨拶に対するアンケート結果、講話のプレゼン等を学校だよりに掲載し続けている。家庭や地域で、児童に積極的に挨拶したり褒めたりしてくださる方が、少しずつ増えてきている。